

# 新・アジサイだより

日本共産党青森県議会議員  
安藤はるみの



私のね

目標だった  
母が逝く

(はるみのワクワク川柳)

## 県議会報告会行う

2月3日駅前記念会館で57人参加



1月19日農林水産常任委員会にて  
**飼料用米乾燥施設について**  
 乾燥施設が不足しているのではという声に答えての質問でした。農産園芸課長は「平成23年産から飼料用米が徐々に増え、26年米価が下落したのに加え収量に応じた数量払いによる助成制度が創設されたことから27年産は7200トンと大幅に増加29年産は6400トンとなっている。西北五地域・県南地域一部が多い。乾燥調製は主食用米より収穫時期を遅らせることが出来るので個別農家や農協等では時期をずらして飼料用米の作業を行っている。乾燥施設不足については支援事業や整備資金で相談に応えたい」「外ヶ浜では町として検討しているようだ」との答弁でした。

1月22日新幹線鉄道対策特別委員会にて  
**整備新幹線平成30年度事業と青函共用走行問題について**  
 新幹線並行在来線調整官は「今年度で青森側は終了予定。残工事は工事用道路として使用した強度の補修工事が行われている。事業費は8億円でその3分の1として2億7千万を県が負担。」

1月22日新幹線鉄道対策特別委員会にて  
**整備新幹線平成30年度事業と青函共用走行問題について**  
 青森県は新青森・新函館北斗間について全線を時速200km以上で高速運行することを前提として工事実施認可に同意し、多額の建設負担をしてきたことから安全性や鉄道による貨物輸送の基幹的な機能を十分に確保したうえで、青函共用走行区間に係る新幹線の高速走行を求めています。

1月22日新幹線鉄道対策特別委員会にて  
**整備新幹線平成30年度事業と青函共用走行問題について**  
 青森県は新青森・新函館北斗間について全線を時速200km以上で高速運行することを前提として工事実施認可に同意し、多額の建設負担をしてきたことから安全性や鉄道による貨物輸送の基幹的な機能を十分に確保したうえで、青函共用走行区間に係る新幹線の高速走行を求めています。

1月22日新幹線鉄道対策特別委員会にて  
**整備新幹線平成30年度事業と青函共用走行問題について**  
 新幹線並行在来線調整官は「今年度で青森側は終了予定。残工事は工事用道路として使用した強度の補修工事が行われている。事業費は8億円でその3分の1として2億7千万を県が負担。」

1月22日新幹線鉄道対策特別委員会にて  
**整備新幹線平成30年度事業と青函共用走行問題について**  
 新幹線並行在来線調整官は「今年度で青森側は終了予定。残工事は工事用道路として使用した強度の補修工事が行われている。事業費は8億円でその3分の1として2億7千万を県が負担。」

### (1月2月各種行事参加)

- 弘前市市民新年互礼会・取上町会新年互礼会・商工会議所新春祝賀会・初セリ・藤代公民館新年互礼会・消防出初式・体育協会新年会・清原町会新年会・私学のつどい・日本共産党津軽後援会新春のつどい・弘前民主文学会評新年会・出版を祝う新春の集い



### 新春街宣行

1月3日高橋千鶴子衆議院議員市議団と共にイトーヨーカドー前 (写真左)

### 成人を祝う街宣

1月7日千葉市議高柳氏女性後援会の皆さんと (写真右)



## ほっとタイム

(母逝く)

誰もが通らなくてはならない道を経験しました。2月6日東京に住む母が帰らぬ人となり父の元に逝きました。93歳と11カ月の死です。女性の平均寿命が85・93歳といいますが立派な長寿です。火葬の際の担当の方が骨は50歳並ですとおっしゃいました。定年まで保険の外交をしていた母ですからよく歩いたのが骨を丈夫にしたのでしょう。とても穏やかな今にも微笑むような顔だったのが救いでした。私は夜行バスで向かいましたが、4時間の差で間に合いませんでした。仕方ありません。これまで東京に仕事で行った折にちょっと寄って顔を見ていました。行くくと「あんた大丈夫。無理すんじゃないよ。房治さんはどう」と逆に色々心配してくれていました。長兄家族と一緒に暮らしながら最近、時折デイサービスを利用して施設の皆さんと楽しく過ごしていたようでした。100歳まで大丈夫とみんなが思っていたのですがそのデイサービス先で転んで頭を打ったというのが引き金になって入院し、ちょっと心臓も弱っているということが分かり急速に衰えていきました。

家族葬で姉妹弟・子ども・孫・姪ら大勢に送られて旅立って逝きました。

■皆さんの「ご意見」・「ご要望」をお寄せ下さい。■「生活相談」お気軽にご連絡下さい。1月の相談対応7件

発行：安藤はるみ

事務所 弘前市宮川2丁目3-2 電話0172-35-7021  
10:00~15:00 (土・日・祝日休み 留守電対応)

自宅0172-35-2270

ホームページアクセス数は12月は30,222件  
1月は39,742件

Eメール ando.harumi@theia.ocn.ne.jp ホームページアドレス http://ando-harumi.com/